

2006年6月13日

“明治安田生命 ふるさと関西を考えるキャンペーン31年”
冊子「記憶のシーン—今はない関西、残したい関西」発行

明治安田生命保険相互会社（社長 松尾 憲治）は、この度、2006年度「関西を考える会」冊子「記憶のシーン—今はない関西、残したい関西」（A4版・96ページ）を発行いたします。

明治安田生命の「関西を考える会」（代表 真野 修三）では1976（昭和51）年以來、社会貢献活動の一環として関西の歴史・文化を探る活動を続け、毎年様々なテーマで冊子を発行してきました。同会の活動は今回の「記憶のシーン」で31年目にあたります。

冊子は、識者101名のご意見から、今は見られなくなった、あるいは大きく姿を変えたさまざまな関西のシーンを、多くの画像・イラストを交えながら巡りつつ、現存するシーンの維持、保存のための方策、さらに将来まで残したい関西のシーンに関する提言、アイデアを取りまとめております。

過去を振り返るという意味での「ノスタルジー」に終始することなく、今後の関西のシーンを築き上げていくうえでの指針にもなるものと思料いたします。

【冊子の内容】

- 第1章 今はない関西のシーン（自然、景観から近代建築、球技場、万博まで）
- 第2章 残したい関西のシーン（2府4県）
- 第3章 関西のシーンへの提言
- 第4章 ああしたらこうしたら

冊子は無料で配布いたします。ご希望の方は、送料290円分（1冊）切手同封のうえ、〒541-0051 大阪市中央区備後町1-6-15 明治安田生命備後町ビル6F 明治安田生命大阪総務部「関西を考える会」（電話 06-6208-3750）までお申し込みください。